

“いいよ” 日本語

張震

皆さん、こんにちは。私は中国から来日した法学部の張震と申します。

日本に来てもう二年半くらい経ちましたが、その間に沢山の経験をして、自分の国との違いが想像以上にあることを実感しています。

勿論、私の母国と同じような言い方をする場合もあるので分かることもありますが、私達留学生にとって、さっぱり理解できないことも結構あります。

そこで、今日は、私が実感した日本語独特の曖昧な言い方についてお話させていただきたいと思います。

私はコンビニでアルバイトをしています。

そこで、最初一番気になったのは、お客様からの「いいよ」です。

ある時、「お客さん、お弁当を温めますか？」と聞いたら「いいよ」という返事が返ってきました。

私は、会計を終えて、直ぐにお弁当を電子レンジに入れようとしたら、そのお客さんが「おい！やめて」って、変な顔で私を見ていました。

「何故そんな顔で私を見るの?? さっき“いい”って言ったじゃない?」と少し腹立たしく思いましたが、そこは、紳士の私ですから作り笑顔で「すみません!」と謝りました。

でも、「温める必要がないなら、“いいよ”ではなく、“要らない”とハッキリ断ればいいのに・・・」変な人だなあ～と思いました。

それから何日か経った時、正に私好みの、もの凄く可愛いお客さんが、ジュースを買って私の前に現れました。

私の心臓は、緊張のあまりバクバクと音をたてていましたが、「落ち着け、落ち着け」と心に言い続けて、「お客さん、ストローを付けますか？」と優しい声と満面の笑顔で話しかけたら「いいよ」っていう返事来ました。

私は以前の経験を活かし、ストローをつけずに飲み物だけ袋に入れました。

お店を出たその子が、数分後に戻ってきて私の目の前に現れました。

「ま！まさか?? この可愛い子が私の事を気に入ってくれたのかなあ??」と身勝手な妄想をしていたら、「あの～? ストローもらえないの?」

「あ～あ！やっぱなあ!! 心が痛い!!」

でも、これよりも痛みを感じさせられたのは、お客さんたちの「いいよ」という意味を完全に理解出来ていなかったことです。

私は、コンビニで長い期間働いてきましたが、このような客さんとの出会いは結構ありました。

なぜ、日本人は、簡単に曖昧な返事をするのか?

私はどの様に理解すればいいのか?

と最初は悩みましたが、日本の生活に慣れてくると少しずつですが、その理由が分かるようになりました。

それは、「いいよ」には否定と肯定の 2 つの意味が含まれているということも分かってきました。

「OK 又は Good」の「いいよ」と、「No Thank you」の「いいよ」が、その時々

の状況に応じて存在するのです。

それぞれの状況に応じた「いいよ」の意味を理解することは私達外国人には難しく、とても曖昧な言葉に感じられますが、そこには、日本人の知恵があることも分かってきました。

明確な発言をすると、責任がついてまわります。

昔から日本人は、責任の所在を分散させて、なんか問題が起きたときに誰か1人が責任を負うことがないように配慮してきたようです。

私はこのような「曖昧さ」を察することができず、よく期待を持たされたり、がっかりさせられたりしましたが、皆さんはどうでしょうか？

日本人はこのような曖昧さで、いわゆる「人間関係」を重視するために、時には国人との間に目に見えない壁を作ってしまう、真の交流がうまくいかないのではないのでしょうか？

とはいえ、私達留学生にとって、こういう異文化があるからこそ、それを理解しようとする方がもっと重要だと思います。

私はこれからも、沢山の理解できない経験を積んで、最後には二つの文化をよく理解する人となって、国際交流の架け橋になりたいと考えています。

どうですか？みなさんも私と同じ気持ちを持ってお互いの文化を理解していきませんか？

ご清聴ありがとうございました